

# 『硝子体手術におけるプリリアントブルーG使用について』

当院では硝子体手術時に国内未承認薬剤であるプリリアントブルーGを使用します。

対象となる患者さんは、以下のような  
内境界膜剥離が有効な網膜疾患の方です  
(網膜上膜・黄斑円孔・黄斑浮腫・網膜分離症・増殖性硝子体網膜症など)

- 硝子体手術の際に眼内組織である網膜の内境界膜を剥離することで手術成績を向上させ視機能改善を目指します。より安全に手術を行うためプリリアントブルーGにて内境界膜を染色し確実に剥離を行います。
- 欧州を中心に諸外国ではすでに承認済みの薬剤としてプリリアントブルーGは使用されており安全性、有効性に関しては多数報告されています。
- すでに全国の多くの施設で使用されており、当院の未承認新規医薬品評価委員会にて承認されています。

## この治療中に、あなたの健康に被害が生じた場合について

プリリアントブルーG使用中あるいは使用後にあなたに副作用などの健康被害が生じた場合には、医師が適切な診察と治療を行います。使用に起因したあなたの健康に被害が生じた場合、その薬による健康被害の治療に要する費用については、原則として通常の保険診療による患者さん負担となります。この薬剤は未承認薬であり、医薬品副作用被害救済制度は適応されません。

## 相談窓口

プリリアントブルーGに関してご不明な点がある方、  
プリリアントブルーGの使用を希望されない方  
→ 下記までご連絡ください

関西医科大学総合医療センター 眼科外来  
☎ 06-6992-1001 (内線2142) (平日9:00~16:45)

 この掲示をご覧になり、プリリアントブルーGの使用を希望されない方は、遠慮なくご相談ください。